

西宮恵美寿RC坂本様、貴田様、大波加会員ゲスト堀田様、米山奨学生斉様、ようこそいらっしゃいました。

IM報告書が完成しました。記録部会 担当 瀬川会員ご苦労さまでした。先週の西宮恵美寿RC創立 20 周年記念例会、多数の会員の皆様、ご参加有難うございました。

高校野球の聖地甲子園で女子選手がプレーする歴史的機会が訪れる可能性があります。夏の高校野球100回の節目を迎える決勝戦前に、全国高校女子硬式野球大会の決勝を行う計画があるようです。女子の大会は1997年に第一回大会を出場5チームで開催、会場は関東地方で様々なグラウンドで開催されていましたが、第8回大会から兵庫県の丹波市で開催されています。現在参加校は26校です。私も知らなかったのですが、女子野球もワールドカップがあり、2004年から2年ごとに世界各国で開催されており、2008年からいま現在5連覇を達成しています。参加国はアメリカ、キューバなど12カ国です。

「マドンナジャパン」と呼ばれ、いまや国際的にずば抜けた存在で、今年アメリカフロリダで開催されるワールドカップ6連覇を目指しており、全国の高校で女子硬式野球部の設立も徐々に進んでおり、こうした流れを踏まえて持ちあがった「甲子園決勝」のアイデアといわれています。甲子園のプレー機会をつくることで、女子高校野球というカテゴリーの確立と発展にもつながり、また憧れの甲子園という舞台への門戸を女子に開くことは、野球人口減少の流れに一石を投じることにもなります。

ちなみに高校女子野球の試合は、7回制投手板から本塁、塁間などの規格は男子と同一です。

また話は変わりますが、今年の夏の高校野球大会からここ数年入場者や座席確保を求めて、早朝に来場者が殺到し、事故やトラブルの危険性が高まっていたため、観戦者の安全を守るために、無料の外野席を有料となり、バックネット裏の中央特別自由席は指定席となり、全席前売りとなります。

高校野球の人気は、この選抜大会も3月25日は30年ぶりに満員札止めとなっており、高まる一方なのに大学野球は寂しいです・・・。